

愛知県議会議員



しもおく奈歩の つながる通信

2023年11月26日号

豊橋市『しんぶん赤旗』読者ニュース【部内資料】



各種SNSは
こちらから→

革新県政の会が県政要求で県当局と懇談

——共産党県議復活で県民要求を届け県政を動かす前向きの変化——

革新県政の会は16日、大村知事に提出していた来年度予算の重点要望に対する回答を求め、くらし、教育、福祉、防災など関係部局と懇談予算要望を行い、しもおく奈歩県議が同席しました。



懇談する革新県政の会のみなさん 右端がしもおく県議

県営住宅空室の活用に前向きな回答

県営住宅は改修予算の不足から、老朽化がすすんでおり、改修・改善が急務です。また、県営住宅の空き室は現在、12,000戸もあります。革新県政の会の樽松代表は、名古屋市が大学と連携して市営住宅に学生入居する先進的なとりくみを紹介し、「若者が県営住宅に入居することで、空き室を解消し、住む場所に困らない愛知にしてほしい」と求めました。

県の担当者は、「名古屋市で若い力を借りて自治会活動が活性化していると聞いている。参考にしながら、県としてどういう形でできるか検討中」と回答。ここ数年毎年この要望を出してきましたが、はじめての前向きな回答でした。

外国人労働者や子ども食堂への支援でも前向きな回答

愛知県は外国人労働者の多い県であり、県として必要な支援を求めたことに対し、県の国際交流協会がSNSでの相談を始めたという回答でした。また、備蓄米を子ども食堂

に配布する事など前向きな回答がありました。

時給1,500円へ県が先頭になど要望

西尾美沙子愛労連議長は、時給1,500円めざし、大村知事が先頭に立つよう要請。「物価高騰がすさまじく、実質賃金は下がり続けている。中小企業支援策の抜本的強化を国に求め、下請け単価が適正価格で支払われているかみて欲しい」と強く求めました。

さらに、地域交通拡充への県の助成制度や、男女の賃金格差是正、保育・介護・障害職場での人材確保や処遇改善、6月の豪雨災害被災者への支援と防災対策の共感度を求めました。

中部空港2本目滑走路などは推進

一方、中部空港の第二滑走路問題では修繕のための代替滑走路と埋立地に予定する新規滑走路を両方とも第二滑走路とし整備をすすめる立場に固執。「第二滑走路が必要だ」という説明に終始しました。

共産党県議復活で時間としての懇談に



あいさつする しもおく県議

懇談は、県当局の担当者が入れ替わりで要望に対する回答を行い、4時間にわたる長丁場となりました。

同席したしもおく奈歩県議は懇談終了後に、「現場の実態を教えていただき、みなさんと一緒に県政変えていきたい」とあいさつしました。

参加者からは、「日本共産党の議席が復活したから、愛知県議会の会議室で懇談会を開催することができた。ありがとう」とお礼の言葉が寄せられました。

